

# 市川市立図書館中期計画

平成 23 年 4 月 1 日

## 1 はじめに

本市図書館は、昭和 25 年(1950)9 月に市川小学校内に併設されたことをもって嚆矢とします。昭和 32 年(1957)5 月には葛飾八幡宮境内に本格的な市立図書館として移設され、その後、行徳、信篤、南行徳の各図書館及び平田図書室が相次いで開設されました。平成 6 年(1994)11 月には、老朽化した八幡の市立図書館に代わって鬼高に建設された市川市生涯学習センター内に中央図書館が新設され、さらに平成 21 年 4 月には、JR 市川駅南口の I-L i n k タウンいちかわ ザ タワーズ ウェスト内に市川駅南口図書館が新たに開館したところです。現在本市では、基幹施設である中央図書館を中心に 5 館 1 室によって市内図書館サービスを行っています。

市川市立図書館は、図書館法に基づき、市川市総合計画、市川市教育振興基本計画、市川市生涯学習推進計画、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準等に沿って事業を展開していきます。

そして本計画は、市川市教育振興基本計画実施計画(平成 21 年度~23 年度)に基づき、市川市立図書館が、これからの図書館経営および政策展開の方向性についてあらわしていくことで、計画的運営を図るために策定した中期計画です。なお、本計画の期間は平成 23 年度から平成 25 年度の 3 年間とします。

## 2 現状と課題

本市図書館は、創立から今日に至るまで半世紀を超える歴史を刻んでまいりましたが、この間、幅広い資料の収集と提供、子ども読書活動の推進、図書館ネットワークの整備と拡充、レファレンスサービスの質的向上を図る一方、学校とのネットワーク事業の実施、情報技術の積極的な活用等々、時代に即応した多彩な事業を展開してまいりました。

こうした図書館事業を背景に、本市図書館の平成 21 年度の利用状況は、利用者数約 89 万 2 千人、貸出点数約 339 万点を記録しており、利用は年々増加しています。中央図書館開館により、飛躍的な発展を遂げてきた本市図書館ですが、開館準備時の社会環境や図書館像は既に 20 年近く昔のものとなっています。その後、平成 13 年には文部科学大臣より「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が告示され、平成 18 年に文部科学省より発表された『これからの図書館像』(報告書)は全国の図書館に大きな影響を与えています。

現在の公共図書館は多くの課題を抱えております。業務のアウトソーシング化の流れの中で、市川駅南口図書館は、本市図書館で初めての指定管理者制度導入例となりました。また、開館時間や開館日の拡大が全国的な潮流になっている中で、本市においても平成 21 年 4 月から中央図書館と行徳図書館の祝日開館と開館時間の拡充を条例改正により本実施いたしました。さらに平成 20 年には図書館法を含む社会教育関連 3 法の改正が行われ、図書館の新たなあり方が形成されつつあります。

今後は指定管理者による管理運営の評価と検証を着実にを行うと同時に、図書館サービスに対する利用者アンケートを実施し、将来を見据えた本市図書館サービス全体の方向性を総合的に示していかなくはないと考えております。

### 3 中期計画に位置づける目標

中央図書館建設時に設定した基本方針である3つの柱、「レファレンスワークの強化」「市内各館での児童サービスの核としての機能」「学校図書館との協力」を見直し、今後の目指すべき方向性を、公立図書館の使命（ミッション）と位置づけ、改めて6つの柱を設定します。この使命に基づき、図書館の実現する価値や果たすべき役割を明確にしながら、平成23年度から平成25年度に渡る中期計画を策定し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。

#### （1）学びを支える図書館

「身近に図書館が利用できるよう、図書館ネットワークの整備」

誰もが使いやすい図書館システムの整備をはかるとともに、物流の円滑化を進めることにより、迅速で効率的な資料提供をするなど、利用のしやすさを高めていきます。また、図書館未設置地域への図書館設置の検討や自動車図書館の巡回、返却ポストの設置、関連施設等との連携を進めていきます。

#### （2）情報拠点としての図書館

①「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

日常の疑問から仕事上の疑問まで、課題解決に対応できるよう資料の更新に努め、利用に応じた適正な蔵書構成の維持と充実を図ります。また、市民の趣味、教養等に資するため、活字資料の他、視聴覚資料の充実を図ります。心身等、図書館を利用する上でハンデキャップがある方が、それぞれの状況に応じた資料が利用できるよう、障害者向資料の収集に努めます。

②「ICタグによる蔵書管理」

ICチップの特徴を最大限に活用した、効果的な蔵書管理を図り、市民にとって魅力のある棚揃えを実現します。自動貸出機の導入によるセルフサービス化を進め、貸出・返却業務等の効率化を図り、職員の人的な能力を案内・調査相談など、より質の高いサービスへと集中させます。

③「レファレンスサービスの充実」

市民の調査研究活動を積極的に支援します。的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の一層の充実を図ります。電磁的記録も含め多様な情報源を用意し、誰もが資料や情報を入手しやすい環境の整備を進めます。継続的に職員研修を行い、質の高いサービスを組織的にまいります。

#### （3）子どもの成長をサポートする図書館

①「発達に応じた豊かな読書のための環境の整備」

子どもの発達に応じて読書活動を支援できるよう、子どもが読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書の幅を広げていけるような資料収集に努めます。また、子どもと本を結びつける行事の実施や、ブックリストの作成・配布など子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。

②「教育センターや学校図書館との連携」

新指導要領に沿った資料の収集を計画的に行い、学習活動に役立つ資料の充実を努め、調べ学習を支援します。学校における読書環境整備のため学級文庫の充実を図ります。子どもの自ら学ぶ力を育むため、資料や情報を有効に活用し、教育センターや学校図書館との連携を進めます。

#### （4）地域の文化を育む図書館

「市川市の歴史・文化の保存と継承」

郷土市川について、自分の住む地域について知り、学ぶ手がかりとなる資料として、地域社会

の歴史、文化、行政などに関する資料、並びに地域で作成、発行された地域資料や行政資料の積極的な収集を進めます。これら資料による学ぶ機会の拡充を図るためにも、ホームページ等を利用した、地域情報の発信を行っていきます。

#### (5) 連携や協働で多様なサービスを展開する図書館

##### ①「市民ボランティアとの連携の強化と活動のバックアップ」

図書館ボランティアとの連携を強化し、その活動をバックアップします。また、障害者サービスに関するボランティアとの連携も充実させていきます。

##### ②「市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供」

大学図書館と協力し、住民が公共図書館のサービスを通じて大学図書館の持つ専門的な資料を利用できるようにします。

#### (6) まちづくりを支える図書館

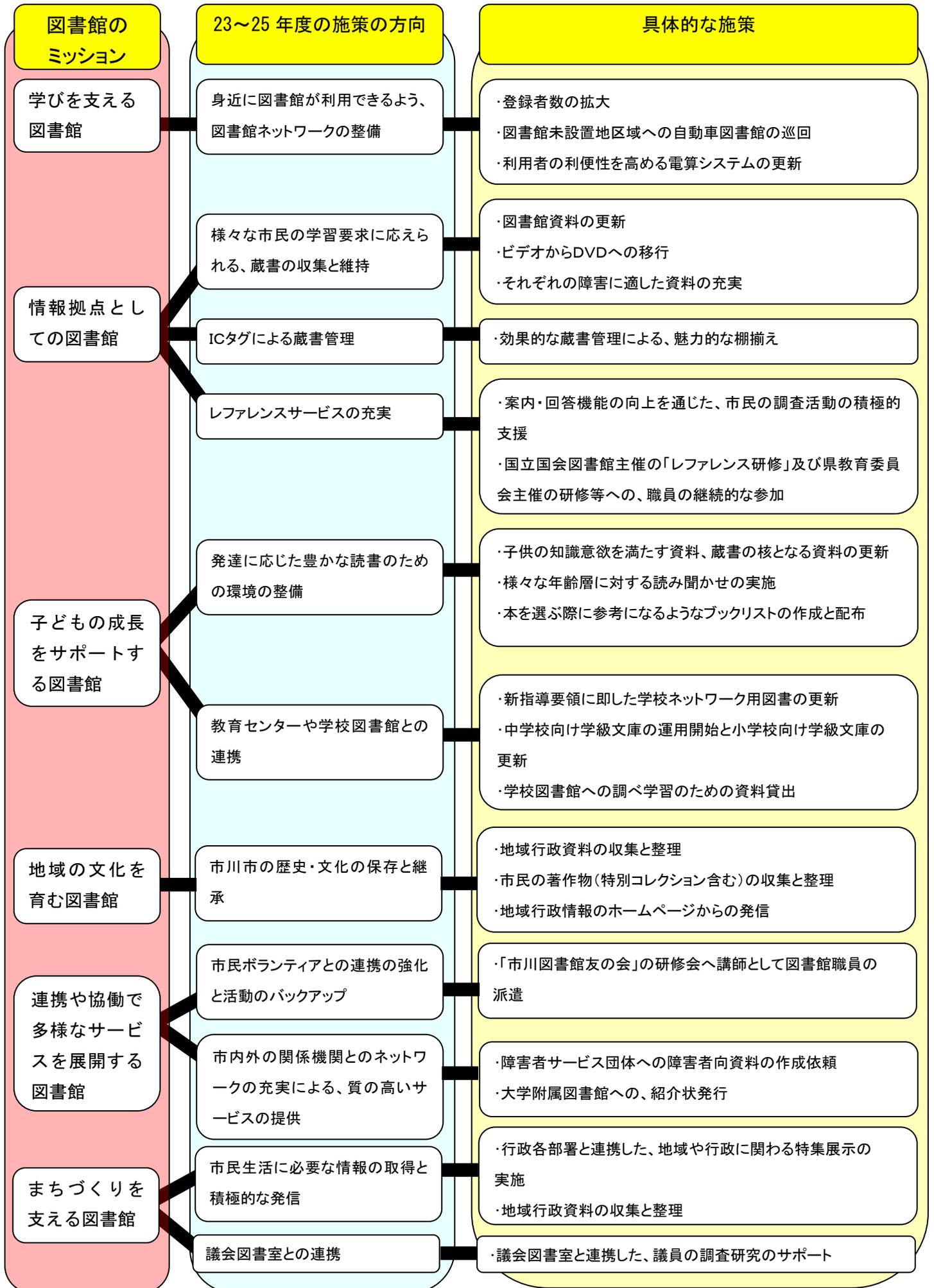
##### ①「市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信」

行政各部署と連携することで、市民生活に必要な最新の情報を市民の多様なニーズに沿って提供します。行政のPRの拠点として、新しい制度や仕組みの周知・普及等、行政課題への取り組みを支援します。

##### ②「議会図書室との連携」

図書館法第3条第4項に基づき、議会図書室と相互連携し、図書館の有する情報資源を議会図書室を通じて市川市議会に提供します。

施策の体系図



#### 4 中期計画に位置づける実施計画

##### 「身近に図書館が利用できるよう図書館ネットワークの整備」

登録者数	図書館登録者の拡大		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	150,000人	151,000人	152,000人
自動車図書館利用者数	図書館未設置地区域への自動車図書館の巡回		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	5,300人	5,500人	5,700人
図書館電算システム更新	利用者の利便性を高める、図書館電算システムの整備		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	更新	継続(整備)	継続(整備)

##### 「様々な市民の学習要求に答えられる、蔵書の収集と維持」

資料更新冊数	図書館資料の更新（児童書数含む）		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	60,000冊*	55,000冊	55,000冊
DVDの購入点数	ビデオからDVDへの移行		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	500点*	250点	250点
障害者資料の製作・収集	それぞれの障害に適した資料の充実		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	400点	400点	400点

\*23年度は、図書館資料購入について国からの交付金があるため、他年度より目標値が高い。

##### 「ICタグによる蔵書管理」

ICタグ付与進行状況	効果的な蔵書管理による、魅力的な棚揃えの実現		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	計画の策定	中央図書館蔵書 ICタグ付与	地域館蔵書 ICタグ付与

##### 「レファレンスサービスの充実」

受付件数	案内・回答機能の向上を通じた、市民の調査研究活動の積極的支援		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	62,800	63,300	63,800
参加状況	国立国会図書館主催の「レファレンス研修」及び県教育委員会主催の研修等への、職員の継続的な参加		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	各研修への職員の参加	各研修への職員の参加	各研修への職員の参加

「発達に応じた豊かな読書のための環境の整備」

児童資料更新冊数	子どもの知識欲を満たす資料や、蔵書の核となる資料の更新		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	10,000冊	10,000冊	10,000冊
読み聞かせの会参加者数	様々な年齢層に対する読み聞かせの会を実施		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	1,000人	1,100人	1,200人
進行状況	子どもや周囲の大人が本を選ぶ際の参考になるようなブックリストの作成と配布		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	『本のぼけっと』 作成・配布	『本のぼけっと』 作成・配布	『本のぼけっと』『読んであげたい絵本改訂版』 作成・配布

「教育センターや学校図書館との連携」

学校ネットワーク用図書の更新	新指導要領に即した学校ネットワーク用図書の更新		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	200冊	200冊	200冊
学級文庫の更新	中学校向け学級文庫の運用開始と小学校向け学級文庫の更新		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	中学校向け学級文庫の運用開始 小学校向け学級文庫の更新 2,000冊*	小学校向け学級文庫の更新 200冊	小学校向け学級文庫の更新 200冊
貸出依頼の受付件数	教育センターや学校図書館との連携の推進		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	500件	500件	500件

\*23年度は、図書館資料購入について国からの交付金があるため、他年度より目標値が高い。

「市川市の歴史と文化の保存と継承」

地域行政資料受入数	市川市の地域行政資料の収集と整理		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	1,500冊	1,500冊	1,500冊
市民文庫特別コレクション受入数	市民の著作物(特別コレクションを含む)の収集と整理		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	150冊	150冊	150冊
進行状況	地域行政情報のホームページからの発信		

年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	情報発信に向けた情報の収集及び整理	地域行政情報の発信	地域行政情報の発信

「市民ボランティアとの連携の強化と、活動のバックアップ」

実施回数	「市川図書館友の会」の研修会に図書館職員を講師として派遣		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	4回	4回	4回
依頼点数	障害者サービス団体への障害者資料の作成の依頼		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	20点	20点	20点

「市内外の関係機関とのネットワークの充実による、質の高いサービスの提供」

実施回数	大学付属図書館への紹介状の発行		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	100回	100回	100回

「市民生活に必要な情報の取得と積極的な発信」

実施回数	行政各部署と連携した、地域や行政に関わる特集展示の実施		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	3回	4回	5回
地域行政資料受入数	市川市の地域行政資料の収集と整理		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	1,500冊	1,500冊	1,500冊

「議会図書室との連携」

進行状況	議会図書室と連携した、議員の調査研究のサポート		
年度	23年度	24年度	25年度
目標値等	連携の開始	連携事業の充実	連携事業の充実